



高尾山のいきものたち

ヒオドシチョウ

(タテハチョウ科)



深みのある橙色と縁取りが青色に輝く翅。広げた翅は、橙色に黒い点がいくつかあり、青色に縁どられている。翅の裏側は、樹皮のような褐色で目立たない。丘陵地から山地の落葉広葉樹林や雑木林に生息し、木の樹液によく集まり、花にはあまり来ない。食草は、エノキやハルニシ、ヤナギ類など。

成虫は、年1回、6月頃に羽化するが、暑い時期になると休眠し見られなくなる。そのまま越冬すると、3月頃に姿を現し、繁殖活動をして次の世代の卵を産む。この頃は山頂や尾根道で翅を広げている姿を見ることがある。その翅は傷み、橙色や青色が薄くなっていることが多い。蝶としては長く生き、悪天や天敵に耐えてきた証なのだろう。

(森林インストラクター 藤原 裕二)

驚き桃の木 高尾の記

NO.8



子供たちに驚いてもらいたい！

センターに勤めるようになって早2年が過ぎました。森林教室では、5年生の児童を連れて自然観察をします。観察をしながら子供たちに色々なことに驚いてもらいたいと思って話をしますが、これがなかなか難しいのです。私自身もまだまだ知らないことばかりですが、まずは自分自身が自然の巧妙さに驚き、その驚きをできるだけ子供たちと共有できるように話をしよう努めています。

いくつか例を紹介します。「この実（アオキ）はなぜこんなに真っ赤になるの？」「スギの木は植えてから何年ぐらいでこの大きさになると思う？」「あの葉っぱ（マタタビ）が白くなるのは何のため？」「この滴り落ちる水は1年中涸れないんだよねえ。」「この実（ジャノヒゲの種）の皮をむいてコンクリートの上に落としてみよう！」「この種（ウバユリ、テイカカズラ、イノコヅチなど）にはなぜわざわざ翼、毛、鉤がついているの？」「こん

なでっかい蜂（誘引捕獲したスズメバチ女王蜂の標本）がこの辺にもいるんだよ！」「この実（ツリフネソウ）を摘まんでごらん！」「この枯れ葉（スギ）を燃やすと出る煙は何の香り？」「この葉っぱ（ヤブムラサキ）を触ってみて！」「この幼虫（アサギマダラ）が葉っぱ（キジョラン）を食べた跡は何で丸い穴になるの？」

子供たちが「な～るほど」「へえ～すごいんだね」と反応してくれると思わず嬉しくなるのですが・・・。（枝）



真っ赤になるアオキの実



アサギマダラ幼虫と食痕

令和4年度森林ふれあい推進事業決定

令和4年度森林ふれあい推進事業の実施にあたり、関東森林管理局長と協定を締結しイベントを開催していただく4団体とイベント内容を次の通り決定致しました。参加ご希望の方は各実施団体宛に直接お申し込みください。
また、高尾森林ふれあい推進センターHPの募集要項も併せてご覧ください。

令和4年度森林ふれあい推進事業イベント実施団体実施計画表

1. 森林インストラクター東京会 会長 斉藤 幸雄

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員
①「春の香りに誘われて」スミレやフタバアオイがひっそり咲く日影沢へ	4/12 (火)	3/29 (火)	30名
②三山踏破(陣馬山・景信山・高尾山)	5/11 (水)	4/27 (水)	30名(健脚向き)
③風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ	5/24 (火)	5/10 (火)	30名(健脚向き)
④セッコクと初夏の草花を訪ねて	5/31 (火)	5/17 (火)	30名
⑤初夏の奥高尾 静寂の林道ハイキング	6/19 (日)	6/3 (金)	30名
⑥高尾山 初夏の親子自然観察会	6/26 (日)	6/10 (金)	30名(親子)
⑦高尾山の樹木を楽しむハイキング	7/1 (金)	6/17 (金)	30名
⑧小下沢の溪流ジャブジャブ歩き	7/17 (日)	7/1 (金)	30名(親子)
⑨大垂水峠から♪秋の花を探そう*爽やかハイキング	9/20 (火)	9/6 (火)	30名
⑩高尾山の隠れた魅力 林道歩きを楽しむ!	10/14 (金)	9/30 (金)	30名
⑪高尾山 秋の親子自然観察会	10/23 (日)	10/7 (金)	30名(親子)
⑫高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体感〜八十八大師・空海像巡り〜	11/8 (火)	10/25 (火)	30名(健脚向き)
⑬晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング	11/19 (土)	11/4 (金)	30名
⑭奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング	11/30 (水)	11/16 (水)	30名(健脚向き)
⑮もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる	12/8 (木)	11/24 (木)	30名(健脚向き)
⑯氷の華「シモバシラ」と富士山の展望を楽しむハイキング	1/6 (金)	12/23 (金)	30名
⑰相模湖から小仏城山を経て高尾山頂へハイキング	1/24 (火)	1/10 (火)	30名(健脚向き)
⑱魅力満載・冬の高尾を歩く	2/7 (火)	1/24 (火)	30名
⑲春の健康ハイキング〜北高尾の森で春を探そう〜	3/9 (木)	2/22 (木)	30名
⑳カタクリ・シュンラン・ベニシダレザクラを訪ねる春風ハイキング	3/24 (金)	3/10 (金)	30名
㉑高尾山 春の親子自然観察会	3/26 (日)	3/10 (金)	30名(親子)
特別企画 国民の祝日「山の日」制定記念 まるごと!高尾山GREEN CLEAN作戦 ①琵琶滝コース②稲荷山コース③吊り橋コース	8/11 (木)	7/28 (木)	各コース25名

【申込方法】 申し込みは各イベントごとに郵便またはメールで

「イベント名」「住所」「氏名(ふりがな)」「年齢」「性別」「電話番号と緊急連絡先(電話番号)」をご記入の上

往復はがき:〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1 高尾森林ふれあい推進センター宛郵送

メー ル: 募集チラシに掲載されているメールアドレスに送信 (イベントごとにアドレスが違います。)

募集チラシは高尾森林ふれあい推進センターHPからもご覧になれます。 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

2. 特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部 理事長 横山信明

コース	イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
T-1	高尾山の恵みと魚取り/腸取り体験教室Ⅰ	8/13 (土)	6/14~7/14	50名(小学生25名・保護者25名)
T-2	高尾山の恵みと魚取り/腸取り体験教室Ⅱ	8/14 (日)		50名(小学生25名・保護者25名)
T-3	山の恵みと昔からの染物体験教室	9/25 (日)	8/1~8/28	30名(小学生15名・保護者15名)
T-4	引っ付き虫探しウオーキングと丸太切り体験教室	10/30 (日)	9/1~10/9	30名(小学生15名・保護者15名)

【申込方法】 (募集対象・参加費等詳しくは募集チラシをご確認下さい。)

①催し名/ご希望コース ②保護者を含む参加者全員のお名前/ふりがな ③性別 ④参加者全員の年齢 ⑤学校名 ⑥郵便番号 ⑦住所
⑧メールアドレス ⑨電話番号 を明記し、なるべくEメールでご応募下さい。

特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部 Eメール: moritodenen@live.jp

住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-19 城所ビル203 電話: 03-3366-1233 FAX: 03-5937-4432

【ご注意】 ☆Eメールでご応募の場合は、必ず森とでんえん倶楽部のEメールが受信できるように設定下さい。

☆T-1・T-2「魚取りと生き物観察教室」はどちらも同じ催し内容です。どちらの日にも参加可能な場合は、その旨記入下さい。

☆募集定員を越えた場合はお断りすることがございます。

☆新型コロナウイルス感染拡大防止の為、催しの中止・延期の可能性が有りますので、予めご承知おき下さい。

3. 特定非営利活動法人 森と人のネットワーク 理事長 田中久男

イベント名	実施月日	申込期限	募集定員
①自然観察会(Ⅰ)	6/26 (日)	6/19 (日)	20名
②自然観察会(Ⅱ)	7/10 (日)	7/3 (日)	20名
③自然観察会(Ⅲ)	9/4 (日)	8/28 (日)	20名
④自然観察会(Ⅳ)	11/6 (日)	10/30 (日)	20名

【申込方法】メールで、上記表のイベント名「高尾自然観察会(○)希望」と明記の上

① 参加者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢(保険加入のため)

② 代表者の連絡先(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。

先着順の受付させていただきます。応募者が定員となり次第、締め切り前でも受付を終了いたします。

申込メールアドレス: morijin.network@gmail.com

4. 高尾パークボランティア会 代表 満部 浩一

イベント名	実施月日	募集期間	募集定員
①昆虫探偵団 オトシブミの不思議	5/22 (日)	4/1~5/8	35名(小学生とその保護者)
②高尾山の新七不思議巡り	9/25 (日)	8/1~9/10	40名(中高生含む一般)
③秋の高尾山 クイズウォーク	10/22 (土)	9/1~10/2	50名(一般)
④夜の高尾山でムササビ探し	11/5 (土)	9/15~ 10/20	30名(小学3年生以上と保護者)
⑤初めての野鳥観察	1/26 (木)	12/6~1/6	30名(一般)
⑥花のハイキング	3/23 (木)	2/1~3/10	40名(一般)

【申込方法】往復はがきに返信用宛名を明記の上

① 参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・性別

② 代表者の住所・電話番号(携帯・自宅)・メールアドレスを記入の上、以下にお申し込み下さい。

※ 応募者多数の場合は抽選となります。未就学児の参加はご遠慮ください。また、都合により中止することがあります。

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176 東京都高尾ビジターセンター内 「○○係」宛

※ 「○○係」には上記表のイベント名を明記してください。



森林インストラクター東京会



森とでんえん倶楽部



森と人のネットワーク



高尾パークボランティア会

上記4団体が計画する令和4年度森林ふれあい推進事業に参加ご希望の方は各実施団体宛に直接お申し込みください。

また、高尾森林ふれあい推進センターHPの募集要項も併せてご覧ください。

森林教室

荒川区立 尾久西小学校

3月8日（火）、荒川区立尾久西（おぐにし）小学校5年生73名が森林教室にやってきました。当日は寒波の影響で小雪がちらほら。

久しぶりの野外活動ということもあり、バス降車後の20分の徒歩移動で多少疲れた様子の児童でしたが、プログラムが始まると元気を取り戻しました。

午前は、森林観察を実施。新芽の開葉や春の草花を見るには早い時期の観察ですが、治山ダムの効果・人工林と天然林の違い・樹木の生長の仕方などを説明しました。幸運なことにムササビの食痕（スギの実）を観察することができました。残念ながら夏や秋に観察できるサワガニ等水生生物は、発見できませんでした。

午後は、2グループに分かれ丸太切りと森林学習を交互に行いました。

あっという間に時間が過ぎて、全員無事に帰路へと着きました。コロナ禍で先が見通せない状況ではありますが、感染予防対策を万全にし、少しでも多くの学校を受け入れていければと思います。（磯）



なぜ「アオキ」と名付けられたかわかるかな？



「腰が痛い～」と言いつつも頑張って切りました！

森林教室

東村山市立 北山小学校

3月10日（木）、東村山市立北山小学校5年生50名の森林教室を、日影沢キャンプ場と周辺の国有林を利用して行いました。

午前は、森林観察。人工林と天然林の違い、木の生長などを目にしてもらいながら学習。ムササビの食痕を発見したり、タゴガエルの声を聞いたりすることができ、児童達も大喜び。

午後は、2班に分かれ座学と丸太切り体験を交互に実施。

丸太の重さを実感してもらった後、本番の丸太切りにチャレンジ。教えられたとおりに上手に鋸を使って輪切りを2～3枚作成。

閉校式では、児童から「緑のダムは授業で習っていたけど、実際に目で見ることができてうれしかった」などの素晴らしい感想がありました。

引率の先生からは「来年も是非お願いしたい」との声もいただきました。今年度最後の森林教室となりましたが、今後もより良い森林教室ができるよう工夫を進めていきたいと考えています。（高）



地面から水がしみ出してるよ！



木ってこんなに重たいんだ～

編集後記

新年度となりました。充実した森林環境教育が行えるよう、今後も取り組んで参ります。小学校など教育機関からの「森林教室」等の依頼をお待ちしています。



ルリピタキ

Forest通信 NO.398

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

